

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-219441 (P2003-219441A)
【公開日】平成 15 年 7 月 31 日 (2003.7.31)
【出願番号】特願 2002-315361 (P2002-315361)
【国際特許分類第 7 版】
H 0 4 Q 3/545
【F I】
H 0 4 Q 3/545

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 2 月 28 日 (2005.2.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

中央演算処理装置およびメモリを備えるコンピュータの第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび第 2 のソフトウェアデータ処理リソースを用いてデータを処理するための TDM バスエミュレーション方法であって、

前記メモリにおいて、前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースの実行の順序を特定する少なくとも 1 つのデータチェーンを含むデータ構造を確立するステップであって、前記データ構造は前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも 1 つによって処理されるべき対応するデータにアクセスを可能にするステップと、

前記中央演算装置および前記メモリを用いて、前記データ構造内に含まれるデータに従って第 1 の予め定められた時間にわたって前記第 1 あるいは前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの 1 つを実行して、前記対応するデータから第 1 のデータ処理結果を生成するステップと、

前記データ構造内に含まれるデータから、前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のリソースのうちの次の実行されるべきソフトウェアデータ処理リソースを特定するステップと、

前記特定されたソフトウェアデータ処理リソースを第 2 の予め定められた時間にわたって実行して前記第 1 のデータ処理結果を処理し、第 2 のデータ処理結果を生成するステップと

を含む方法。

【請求項 2】

前記第 1 の予め定められた時間および前記第 2 の予め定められた時間のうちの少なくとも 1 つの持続時間を決定する割込みを周期的に発生させるステップ

をさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記データ構造は、

各エントリに対して、実行されるべき関連するソフトウェアデータ処理リソースの指示と、前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって処理されるべき対応するデータの指示のうちの少なくとも 1 つ

を含む

請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記データ構造は、

前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって生成される任意のデータ処理結果が送られるべき次のソフトウェアデータ処理リソースの指示

をさらに備える請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記データ構造を確立する前記ステップは、

前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも 1 つにアクセスするためのアプリケーションからの要求を受信すること

を含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 ソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも 1 つは、電話機能を実現する

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記コンピュータのシステムリソースに問い合わせ、任意のソフトウェアデータ処理リソースの存在を識別するステップと、

任意の識別されたソフトウェアデータ処理リソースに識別子を割り当てるステップとをさらに含む請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

データ構造の各エントリを辿るステップと、

識別されたソフトウェアデータ処理リソースを対応するデータを用いて実行して第 1 のデータを生成するステップと

を含み、

前記第 1 のデータは、前記データ構造内で識別されるところの次に識別されるソフトウェアデータ処理リソースについての前記対応するデータを形成する

データ処理方法。

【請求項 9】

データ構造のエントリ中で識別される第 1 のソフトウェアデータ処理リソースを対応するデータを用いて実行して第 1 のデータを生成するステップであって、前記第 1 のデータは前記データ構造のさらに別のエントリ中で次に識別される第 2 のソフトウェアデータ処理リソースについて対応するデータを形成するステップと、

第 2 のソフトウェアデータ処理リソースを実行して前記第 1 のデータを処理するステップと

を含むデータ処理方法。

【請求項 10】

中央演算処理装置およびメモリを備えるコンピュータの第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび第 2 のソフトウェアデータ処理リソースを用いてデータを処理するための TDM バスエミュレーションシステムであって、

前記メモリにおいて、前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースの実行の順序を特定する少なくとも 1 つのデータチェーンを含むデータ構造を確立する手段であって、前記データ構造は前記第 1 のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも 1 つによって処理されるべき対応するデータにアクセスを可能にする手段と、

前記中央演算装置および前記メモリを用いて、前記データ構造内に含まれるデータに従って第 1 の予め定められた時間にわたって前記第 1 あるいは前記第 2 のソフトウェアデータ処理リソースのうちの 1 つを実行して、前記対応するデータから第 1 のデータ処理結果を生成する手段と、

前記データ構造内に含まれるデータから、前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のリソースのうちの次の実行されるべきソフトウェアデータ処理リソースを特定する手段と、

前記特定されたソフトウェアデータ処理リソースを第2の予め定められた時間にわたって実行して前記第1のデータ処理結果を処理し、第2のデータ処理結果を生成する手段とを含むシステム。

【請求項11】

前記第1の予め定められた時間および前記第2の予め定められた時間のうちの少なくとも1つの持続時間を決定する割込みを周期的に発生させる手段

をさらに含む請求項10に記載のシステム。

【請求項12】

前記データ構造は、

各エントリに対して、実行されるべき関連するソフトウェアデータ処理リソースの指示と、前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって処理されるべき対応するデータの指示のうちの少なくとも1つ

を含む

請求項10または11に記載のシステム。

【請求項13】

前記データ構造は、

前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって生成される任意のデータ処理結果が送られるべき次のソフトウェアデータ処理リソースの指示

をさらに備える請求項12に記載のシステム。

【請求項14】

前記データ構造を確立する前記手段は、

前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも1つにアクセスするためのアプリケーションからの要求を受信する

請求項10～13のいずれかに記載のシステム。

【請求項15】

前記第1ソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも1つは、電話機能を実現する

請求項10～14のいずれかに記載のシステム。

【請求項16】

前記コンピュータのシステムリソースに問い合わせて、任意のソフトウェアデータ処理リソースの存在を識別する手段と、

任意の識別されたソフトウェアデータ処理リソースに識別子を割り当てる手段と

をさらに含む請求項10～15のいずれかに記載のシステム。

【請求項17】

データ構造の各エントリを辿る手段と、

識別されたソフトウェアデータ処理リソースを対応するデータを用いて実行して第1のデータを生成する手段と

を含み、

前記第1のデータは、前記データ構造内で識別されるところの次に識別されるソフトウェアデータ処理リソースについての前記対応するデータを形成する

データ処理システム。

【請求項18】

データ構造のエントリ中で識別される第1のソフトウェアデータ処理リソースを対応するデータを用いて実行して第1のデータを生成する手段であって、前記第1のデータは前記データ構造のさらに別のエントリ中で次に識別される第2のソフトウェアデータ処理リソースについて対応するデータを形成する手段と、

第2のソフトウェアデータ処理リソースを実行して前記第1のデータを処理する手段とを含むデータ処理システム。

【請求項19】

中央演算処理装置およびメモリを備えるコンピュータの第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび第2のソフトウェアデータ処理リソースを用いてデータを処理するためのTDMバスエミュレーションプログラムであって、

前記メモリにおいて、前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースの実行の順序を特定する少なくとも1つのデータチェーンを含むデータ構造を確立するステップであって、前記データ構造は前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも1つによって処理されるべき対応するデータにアクセスを可能にするステップと、

前記中央演算装置および前記メモリを用いて、前記データ構造内に含まれるデータに従って第1の予め定められた時間にわたって前記第1あるいは前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの1つを実行して、前記対応するデータから第1のデータ処理結果を生成するステップと、

前記データ構造内に含まれるデータから、前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のリソースのうちの次の実行されるべきソフトウェアデータ処理リソースを特定するステップと、

前記特定されたソフトウェアデータ処理リソースを第2の予め定められた時間にわたって実行して前記第1のデータ処理結果を処理し、第2のデータ処理結果を生成するステップと

をコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項20】

前記第1の予め定められた時間および前記第2の予め定められた時間のうちの少なくとも1つの持続時間を決定する割込みを周期的に発生させるステップ

をさらにコンピュータに実行させる請求項19に記載のプログラム。

【請求項21】

前記データ構造は、

各エントリに対して、実行されるべき関連するソフトウェアデータ処理リソースの指示と、前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって処理されるべき対応するデータの指示のうちの少なくとも1つ

を含む

請求項19または20に記載のプログラム。

【請求項22】

前記データ構造は、

前記関連するソフトウェアデータ処理リソースによって生成される任意のデータ処理結果が送られるべき次のソフトウェアデータ処理リソースの指示

をさらに備える請求項21に記載のプログラム。

【請求項23】

前記データ構造を確立する前記ステップは、

前記第1のソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも1つにアクセスするためのアプリケーションからの要求を受信すること

を含む請求項19～22のいずれかに記載のプログラム。

【請求項24】

前記第1ソフトウェアデータ処理リソースおよび前記第2のソフトウェアデータ処理リソースのうちの少なくとも1つは、電話機能を実現する

請求項19～23のいずれかに記載のプログラム。

【請求項25】

前記コンピュータのシステムリソースに問い合わせ、任意のソフトウェアデータ処理

リソースの存在を識別するステップと、

任意の識別されたソフトウェアデータ処理リソースに識別子を割り当てるステップと
をさらにコンピュータに実行させる請求項 19 ~ 24 のいずれかに記載のプログラム。

【請求項 26】

データ構造の各エントリを辿るステップと、

識別されたソフトウェアデータ処理リソースを対応するデータを用いて実行して第 1 の
データを生成するステップと、

をコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記第 1 のデータは、前記データ構造内で識別されるところの次に識別されるソフトウ
ェアデータ処理リソースについての前記対応するデータを形成する

データ処理プログラム。

【請求項 27】

データ構造のエントリ中で識別される第 1 のソフトウェアデータ処理リソースを対応す
るデータを用いて実行して第 1 のデータを生成するステップであって、前記第 1 のデータ
は前記データ構造のさらに別のエントリ中で次に識別される第 2 のソフトウェアデータ処
理リソースについて対応するデータを形成するステップと、

第 2 のソフトウェアデータ処理リソースを実行して前記第 1 のデータを処理するステッ
プと

をコンピュータに実行させるデータ処理プログラム。